

**CRDモデル3・モデル4(BSモデル)・モデル3-a  
の定期検証に関する評価報告書**

**— 概要版 —**

**平成22年2月18日**

**一般社団法人CRD協会**

(はじめに)

厳しい景気情勢が続く中で、初回検証から約1年半、前回臨時点検から1年程度が経過し、新たな決算書およびデフォルト情報が蓄積されてきました。特に今次景気悪化局面でのデフォルト情報の収集も進んできましたこともあり、定期検証を行う時期と判断し、昨年9月にC R Dモデル第三者評価委員会に要請しました。

このほど、法人モデル3（期間1年、期間3年）、個人事業主モデル4（B Sモデル）および法人モデル3-aの品質評価に関する検討結果がまとめましたので、その概要を会員以外の皆様にも公開することと致しました。

平成22年2月18日  
一般社団法人C R D協会  
代表理事長 引馬 滋

## I. 検証について

基本的には、平成20年3月の初回検証時と同様な検証内容・検証方法を適用した。具体的には、①モデルによって算出された推計デフォルト確率（P D）が高い順に、実際にデフォルトが発生しているかどうか（順位性に関するモデルのデフォルト捕捉力）を評価する指標であるAR値による点検、②グラフ観察による推計デフォルト確率と実績デフォルト率の一致状況点検、③モデルの説明変数の合理性点検、を軸として検証を行った。

## II. 委員会での評価結果の概要

1. モデル3・期間1年モデルに関しては、①AR値が概ね時系列的に安定した推移となっていること、②推計PDの過小推計が生じているが、本問題については、既にモデル3-aをリリースすることで、手当て済みであること等から判断し、品質に問題はないとの評価となった。一方、モデル3・期間3年モデルに関しては、過小推計は生じていないが、全般的にAR値が低下傾向にあり、一部業種モデルの中には、AR値が一段低位となっているものもあることから、AR値の水準の評価をめぐって、慎重な検討が行われ、今次検証の焦点となった。
2. モデル4については、BS総合モデルについては、①AR値の水準は、概ね横ばいで安定した推移となっていること、②推計PDと実績デフォルト率の一致状況については、保守的な推計となっていること等から判断し、品質に問題はないとの評価となった。一方、BS財務モデルについては、有意性に乏しい説明変数の増加が見られたことから、これをどのように評価するかについて、検討が行われた。検討の結果は、この検証結果をもって、説明変数が合理的な予測変数であることを否定するものではないとの評価となり、全体としてのモデル精度にも問題がないことから、これらを合わせ、品質に問題なしとの評価となった。なお、委員会としては、説明変数の合理性について、今後、当面、一層注視していくこととなった。
3. モデル3-aに関しては、AR値がモデル3・期間1年と同様な結果となっている等、全体として、品質に問題はないとの評価となった。
4. 今次検証の焦点となった、モデル3・期間3年の順位性判定力に関しては、

①モデル・ユーザーの見解として、特段の問題はないとの評価が示されたこと、②最新データを利用したモデル再推計<sup>1</sup>結果では、期間3年モデルという事情を反映して、現行モデル品質を上回るモデル構築が叶わなかつたことから期間3年モデルの品質は問題ないと評価できる。加えて③委員会に提出された期間1年AR値と期間3年AR値の対応に関する山下委員見解をめぐつて検討を重ねた結果、諸前提の妥当性について、若干の検討の余地は残るもの、有力な判断材料と評価され、同見解で提示されたAR値の水準と比較しても、現行期間3年モデルのAR値が決して悪くない水準であると結論付けられた。これらを総合的に判断して、期間3年モデルの品質は問題ないと評価できる。

5. ただし、モデルの再推計結果における、期間1年モデルと期間3年モデルの違いに見るよう、マクロ経済環境が比較的安定した状態にあるときは、予測期間が長期にのぼることの問題は浮上しないが、現在のようにマクロ経済環境が大きく変化する時期においては、予測期間の長さを原因として、企業の順位性を的確に捉えることが難しいという問題が表面化する。この点を考慮すると、期間3年モデルに関して、その利用については、留意が必要である。

以 上

---

<sup>1</sup> AR値が一段低位となっていた業種モデルを対象とし、再推計を行った。

(参考) 「C R D モデル第三者評価委員会」委員

おきな くにお  
翁 邦雄 京都大学 公共政策大学院 教授

すみかわ まさひろ  
住川 雅洋 東京都民銀行 専務取締役

ばば しんいち  
馬場 慎一 滋賀銀行 経営管理部 信用リスク管理グループ 調査役

ひらの ちたか  
平野 千高 全国信用保証協会連合会 情報管理部長

もりだいら そういちろう  
森平 爽一郎 委員長  
早稲田大学大学院 ファイナンス研究科 教授

やました さとし  
山下 智志 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構  
統計数理研究所 准教授

(五十音順・敬称略)